

磐城之實業 日曜版 發行日曜日週毎

農村版

農村貧乏物語

公租公課は 借金で拂つてゐる

一軒につき九十二圓九十七錢

先般來全國各府縣の農會に照會してその地方において中府と認められる農村各一ヶ所を選定し昭和四年度における農村全体の負擔状況と農家個々の負擔状況を調査した處によると農家の負擔は九十二圓九十七錢でこれを一人當りに見ると赤子まで十六圓を負担することになる...

一ヶ村の負擔

昭和四年十一月から昭和五年十月迄の農村全体の負擔状況は國稅府縣稅村稅諸負擔等を加算すると一ヶ村平均負擔總額七萬九千七百三十四圓四十二錢國稅特別地稅一萬一千五百四十八圓六十二錢府縣稅は二九%四で二萬六千四百四十圓村稅は計...

農界雜誌

十三月余で農業五百五十六戸強工業四十六戸強商業六十八戸その他九十戸強で平均人口は男二千二百七十八人女二千二百廿四人計四千四百三十一人で一村平均の土地面積は...

活人劍

とるか下手にするか飛んでもない事になる。唯心、唯物の衝突は、この各町村でも小学校教員に給料が目につけて来たのである。

高久病院

内科 小兒科 耳鼻咽喉科 外科 花柳病科 平町町 電五三 醫學士 高久忠 海醫學士 赤羽清 藥劑師 佐竹菊雄

この外に農會の存廢問題迄まき起す農會費をばし租稅外の諸負擔即ち農會費水利組合費協賛費は全負擔の一四%五五で即ち一ヶ村では一萬三百廿四圓一錢である。

紅葉の物見騒きにおつ、け雪が降る皆さんお仕度はよいが。

